

事業報告

令和元年度 教育事業 タイニーキャンプ①

令和元年8月31日(土)～令和元年9月1日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市 伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:20～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	” 自然の中で遊ぼう” 「ぼうけんの森で 動物になって遊ぼう」			夕 べ の つ ど い	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	” みんなで作ろう！ みんなで作ろう！” 「カレー作り」 「フルーヨーグルト作り」			閉 会 式	13:20～ 閉会式 13:50 解散								

～参加者～

小学1・2年生 計37名（長野県：36名、山梨県：1名）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「自然の中で遊ぼう」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

ぼうけんの森で、動物になりきって身体を思いっきり動かした。懸垂力・支持力・跳躍力の向上を狙った各種プログラムに皆全力で取り組んでいた。途中自然観察をする子もおり、それぞれの感性で自然と親しむことができた。



活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」

講師：ボランティア



宿泊棟にて班ごとに担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。子供達が好きな絵本を数冊選び、読み聞かせた。子供達は皆目を輝かせて物語の世界へ引き込まれていた。

活動Ⅲ 野外調理「カレー・フルーツヨーグルト作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

野外炊飯棟で「カレー」と「フルーツヨーグルト」を作った。子供達は米をといだり、野菜の皮をむいたり、切ったり、缶切りを使ったり、火起こしの補助をしたりしながら一生懸命活動に取り組み、全員でおいしい食事を共にした。

片づけも班員で協力して行うことができた。



～参加者の声～

《参加児童》

- ・ぼうけんの森の各プログラムが楽しかった。
- ・カレー作り、みんなで協力してできて楽しかった。おいしいカレーができた！
- ・ボランティアのお兄さんお姉さんと話せて楽しかった。
- ・お風呂が温泉みたいで気持ちよかった、もっと入りたい。
- ・ベッドで寝るのが楽しかった、ドキドキした、こわかった。

《保護者》

- ・行くときはドキドキしていた様ですが、とっても楽しい2日間になったようで、行かせて良かったと思います。毎朝ギリギリの登校だった子がキャンプに参加してから30分も早く登校してくれる様になり、本当に良い体験ができたと思いました。
- ・普段は少しの時間も母親と離れられない娘なので、キャンプに行ってみたいと言ったときは心配していましたが、迎えに行ったときにお友達やスタッフと嬉しそうに過ごしている姿を見て行かせて良かったと心から思いました。いつもは親にやってもらっていることも「全部自分でやったんだよ」と自信満々の顔で教えてくれました。帰りの車の中で「お友達やお兄さんお姉さんと離れてさみしい」と涙を流していました。



～成果と課題～

○ボランティアを多めに配置したことで、参加者の個別対応等をスムーズに行うことができた。また、保護者からも「ボランティアの数が多く安心した。」「お兄さんお姉さんとのかわわりがとても印象に残っているようだった。」との声があり、安全確保、参加者の意欲向上等の面においてもメリットとなった。

●職員が全体で2名ということもあり若干手薄になってしまった。全体進行、物品等対応、子ども対応、記録対応等の役割を考えると野外炊飯中だけでも3～4人程度職員が確保できると良い。